

寺
ごよみ
一月

一日 年頭参り
八日 成人のお祝い
一四日 法要準備

御正忌

一五日
午前十時 下村お講
午後一時 法要
一六日
午前十時
浦山・栃屋・熊野・
大橋お講
午後一時 法要

講題
阿弥陀さまのおこころ
講師
服部法紹師（広島）

二二日 仏婦総会・新年会

寺報
善巧
ぜん ぎょう

発行
〒938-0862 富山県
黒部市宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975
URL <http://www.zengyou.net>

賀正



親鸞聖人の750回大遠忌祥月命日は平成24年1月16日です。

親鸞聖人の七五〇回大遠忌、来たる一月十六日が祥月命日にあたり、本願寺では約半年かけて行われてきた法要もいよいよ千秋楽。

善巧寺でも例年どおり御正忌として法要が勤まり、本堂修復工事を終えた翌年、平成二十五年の秋に七五〇回大遠忌法要をお勤め致します。

私が住職を継職して十五年が経ちました。その間は、もの凄いスピードで時代は流れ、家族や地域の在り方をはじめ、もの考え方自体が大きく変化し、それは葬儀や法事の在り方にまで影響を及ぼすようになりました。お寺も効率化、簡略化が進行しました。よくよく考えると、それらは、外部からやってきたものではなく、自分自身の都合や怠惰とも合致していたことに原因があったと気付き、言葉を失います。

時代によってどんなに価値観が変化しようとも、変

わらないこととはなんでしょうか。

今頃言うておるのかとお叱りを受けそうですが、ひとつひとつを丁寧に、心を込めて、大切に勤めていく意外に人と深く繋がっていく道はないのです。楽をしたいだけの効率化からは何も生まれないと痛感します。違う言い方をすれば、「後悔しない人生」を送りたいです。

分岐点

そういう意味でも、親鸞聖人の七五〇回大遠忌は、またとないチャンスであり、大きな分岐点と受け取ります。すでに、何度も同じ過ちを繰り返してきているので、スパッと変わる自信もなく、大きなことも言えませんが、「みんなのお寺」である限り、引き続き、皆さまのお育てを頂きたくよろしくお願ひ致します。

善巧寺住職
雪山 俊隆

秋の二大法要

報恩講・空華忌

十月の報恩講、十一月の空華忌が無事執り行われました。今回は両期間中に、新調された天井画の一部を展示しました。

「あらキレイやく」「生きとるみたいやぜ」と、感嘆の声が多数聞かれました。この天井画は日本画家の清河恵美さんが描かれたもので、このたびの七五〇回大遠忌記念事



業の一環として新調されます。皆さまの多大なるご寄進によって、このような素晴らしい絵が本堂に末永く安置されます。これほどのありがたいお供えはありません。

「私のお寺」と同様、「私の天井画」として、どうぞお受け取り下さい。

報恩講御満座では次の方々が感謝状を受けられました。

善巧寺の混乱期に責任役員を務められてなんとか危機を救ってくださった野島義春さん。

非常に熱心に総代役を務められて、特に力メラの腕を見込まれて善巧寺の行事の記録はほとんど一手に引き受けてくださった鬼原六義さん。

若い頃からお寺に足を運ばれてお寺に

隅々まで知っておられ、営繕部ではその知識を遺憾なく発揮してくださいました加藤友司さん。
音沢地区代表として三十年ちかく総代を務めてくださいました故野村五郎さん。この度突然逝去されましたが、代理の方が参列なさいました。



お寺座ライブ
十月八日

お寺の音楽会「お寺座ライブ」も今回で六回目となりました。徐々に認知度も高まり、今年は申し込み初日で二百枚のチケットが完売し、追加募集の縁側立見席五十枚も十分で完売するという予想以上の反響でした。お寺とご縁が薄くなっている若者が音楽を楽しみながら法話や読経にも触れてもらうご縁です。

今回は最後に東日本大震災の追悼法要で幕を閉じました。毎回ほとんどの方が読経になると自主的に正座をされます。義援グッズ販売では、三万三千七百五十円集まりました。



パークゴルフ大会
十月三十一日

第三回目の門徒親睦パークゴルフ大会が行われました。毎回新しい参加者も増えて盛り上がっています。優勝は二連覇となる福澤満さん。今年六月頃に予定していますので、ぜひご参加ください！



清掃奉仕にて役員のみなさん



徳成寺大森婦人会みなさん



龍谷大学修学院のみなさん

寺ごよみ

一 日 浦山お講

二 日 浦山お講

三 日 三日市報恩講

六 日 三日市報恩講

七 日 下立報恩講

九 日 下立報恩講

一 三 日 浦山報恩講

一 五 日 浦山報恩講

一 六 日 栃沢お講

一 九 日 浦山報恩講

二 一 日 浦山報恩講

二 三 日 浦山報恩講

二 四 日 雪ん子劇団 定期公演

二 八 日 浦山報恩講

三 〇 日 浦山報恩講

寺ごよみ

三 月

二 九 日 三日市報恩講

二 四 日 報恩講

二 三 日 熊野・柝屋 報恩講

二 〇 日 入善報恩講

一 六 日 下立お講

一 五 日 入善報恩講

一 四 日 舟見報恩講

九 日 植木報恩講

七 日 生地・荻生・

一 日 浦山お講

寺ごよみ

二 月

御正忌

親鸞聖人の祥月命日に行われる厳粛な法要

一月十五日 午前十時、午後一時

十六日 午前十時、午後一時

講題 阿弥陀さまのおこころ

講師 服部法紹師（広島）

七五〇回大遠忌記念事業 四月より本堂修復工事着工

平成二十四年四月から九月頃まで本堂修復工事が行われます。それに伴い、期間中ご本尊を別部屋（空華殿）へ移動し、ご法事はそちらでお受け致します。予めご了承ください。行事の変更は左記のとおりです。

◆花まつり（四月） 中止

◆永代祠堂会（七月） 十月に変更

詳しい日程は次号以降にお知らせします。

◆子供盆踊り（八月） 中止

※「お講」は通常どおり行います。

年頭参り

一月一日午前八時頃

御正忌準備

一月十四日午前八時半

雪ん子劇団

春の定期公演

三月二十四日午後四時



お寺で一杯飲みませんか？

〜壮年会立ち上げ〜

ここ数十年来、事あるごとに協力頂いていた壮年会（夢を語る会）の諸先輩も総代会等々へと移り変わり、新たに一から壮年会を立ち上げたかと思えます。特に四〇代、五〇代の方を対象に集まりの場を設けますので、「ちよつとお寺で一杯」ぐらいの気持ちでご参加ください。心よりお待ちしております。

合掌

◇昨年は東日本大震災をはじめ悲惨な天災が数多く起こりました。

いづこで何があるかわからない、自分の生と死もままならぬ私たち；いつも聞かせていただいている事ですが、改めて法の真実と自分の無力を思い知らされます。

十一月、富山教区仏婦連盟から五名が東日本大震災の被災地をおたずねしました。箱塚桜団地の仮設住宅でお茶会を開き、二十数人の皆さんと富山を紹介したり歌ったり踊ったりと楽しいひとときを過ごしました。

私にできるのは被災地にお金を落とすことくらい；と一行は両手に持てないほどのお土産を買込んだことでした。

（玲子）

